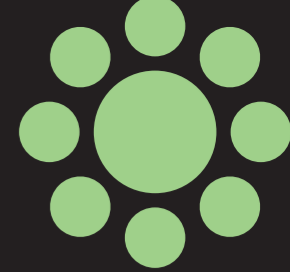


第40回 社会言語科学学会大会



Program of the 40th Biannual Meeting of the Japanese Association of Sociolinguistic Sciences

日時 2017.9.16(土)~17(日)
受付開始: 16日(土) 9:30~ / 17日(日) 9:00~

場所 関西大学 千里山キャンパス
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3丁目3番35号

交通 ①大阪(梅田)から阪急電鉄千里線「北千里」行で「関大前」駅下車、徒歩約5分または、京都「河原町」行(通勤特急を除く)で「淡路」駅下車、「北千里」行に乗り換えて「関大前」駅下車 ②JR「新大阪」駅から地下鉄御堂筋線「なかもず」行で「西中島南方」駅下車、阪急電鉄「南方」駅から「関大前」駅下車、徒歩約5分

お問い合わせ先 社会言語科学学会研究大会委員会 E-mail: jass-desk@bunken.co.jp http://www.jass.ne.jp/another/?page_id=2

参加費 (大会論文集1冊込)
会 員: 3,000円 / 非 会 員: 5,000円
学生会員: 2,000円 / 学生非会員: 4,000円

9月16日(土)

9:30	受付開始 〔1号館(A棟)2F ホワイエ〕			
10:00	開会			
10:00~10:30	<セッション1> 〔1号館(A棟)5F A501教室〕 司会: 杉浦 秀行(摂南大学) 「手慣れの依頼に対する断り」表現における日本語・タイ語母語話者の意味公式使用の違い—目上からの依頼に対する断りを中心に— ブーンウォンプラサート タニット(大阪大学)	<セッション2> 〔1号館(A棟)5F A502教室〕 司会: 安井 永子(名古屋大学) 日本語母語話者と非母語話者の初対面雑談会話における国事情談話の相互行為分析 嶋原 耕一(立教大学)	<セッション3> 〔1号館(A棟)5F A503教室〕 司会: 伊藤 翼斗(京都工芸繊維大学) 鉄道の案内サインを考える—北欧4か国の首都駅と東京— 岩田 一成(聖心女子大学)	<セッション4> 〔1号館(A棟)6F A603教室〕 司会: 平田 未季(秋田大学) 会話にみる”社会知” —英語の列挙表現とそのプロソディー— 穂元 美咲(慶應義塾大学)
10:35~11:05	なぜ不満を表明しないのか —日本語とロシア語の不満表明の対照研究— PROKOPEVA MARIIA(大阪大学)	日本語の雑談における記憶に関する発話の分析と分類 千々岩 宏晃(大阪大学)	公共サインの客観的評価のための試み —英訳にあらわれた「ズレ」からそれを探る— 本田 弘之(北陸先端科学技術大学院大学), 倉林 秀男(杏林大学)	認知環境を考慮した臨床での「医療用語の説明」についての—考察— —関連性理論の観点から— 神田 千春(上武大学/群馬大学)
11:10~11:40	マレーシア語会話における聞き手行動 —談話マーカ―「ね」「さ」相当語kan周辺に注目して— 勝田 順子(大阪大学)	会話における「と文末」を用いた理解確認 陳 力(九州大学), 横森 大輔(九州大学)	韓国におけるデパート店内の店舗名について —ファッション系の店舗を中心に— 持田 祐美子(平澤大学)	インバウンド・コミュニケーションにおけるスタンステーキングの分析 —バフチンの対話原理の視点から— 高梨 博子(日本女子大学)
11:45~12:15	日本語学習者のスピーチ・レベルポライトネスの発達 —第二言語環境における英語母語話者の依頼, 勧誘, 謝罪の発話行為を対象に— ボイクマン 総子(東京大学), 森 一将(文教大学)	直接性と逼迫性の連鎖的再格付け —米公聴会における応答追求手続きの会話分析— 岡田 悠佑(大阪大学)	名詞句と名詞句のみの組み合わせの新聞見出し 劉 吉香(関西外国語大学)	英語による議論コミュニケーションに見られる主導権獲得や放棄について —日本語母語話者と非日本語話者との比較— 春木 茂宏(近畿大学)
12:15~13:10	JASSカフェ 〔1号館(A棟)5F 実験実習・語学系教室(4)〕			
13:15~13:20	開催校ご挨拶 〔1号館(A棟)1・2F 千里ホールA〕 芝井 敬司(関西大学学長)			
13:20~14:50	特別講演 〔1号館(A棟)1・2F 千里ホールA〕 ヘイトスピーチの法と言語 講演者: 橋内 武(桃山学院大学名誉教授) / 司会: 串田 秀也(大阪教育大学)			
14:55~15:40	会長挨拶, 総会, 大会発表賞授賞式 〔1号館(A棟)1・2F 千里ホールA〕			

研究発表(口頭発表)

15:55~18:25	<ワークショップ1> 〔1号館(A棟)6F A601教室〕 Beyond the Gap —コミュニケーションにおける「異なり」はどう処理されるのか— 企画責任者: 砂川 千穂(国立情報学研究所/日本学術振興会) 参加者: 秦 かおり(大阪大学), 菊地 浩平(総合研究大学院大学), 片岡 邦好(愛知大学)	<ワークショップ2> 〔1号館(A棟)6F A602教室〕 役割語・キャラクター言語から見た翻訳研究 —村上春樹作品を中心に— 企画責任者: 金水 敏(大阪大学) 参加者: 文 雪(大阪大学), 劉 翔(大阪大学), Chaiwiroj Chutipuk(大阪大学), Lindskog Sebastian(大阪大学), Wojciechowicz Tomasz(大阪大学), 依田 恵美(神戸学院大学)	<ワークショップ3> 〔1号館(A棟)6F A603教室〕 メディア・コミュニケーションとしてのゲーム・コミュニケーション —ナラティブ, 実践, アイデンティティ— 企画責任者: 石田 喜美(横浜国立大学) 参加者: 田島 知之(関西大学), 李 勇昕(京都大学), Andrew Burn(University College London), 水澤 祐美子(成城大学)
-------------	---	--	---

ワークショップ

18:40~ **懇親会**〔以文館・レストラン法文坂〕

9月17日(日)

9:00~	受付開始 〔1号館(A棟)2F ホワイエ〕			
9:30~10:00	<セッション5> 〔1号館(A棟)5F A501教室〕 司会: 小川 俊輔(県立広島大学) 介護分野の外国人技能実習生に求められる日本語能力はいかに議論されたか—厚生労働省有識者検討会を題材に— 布尾 勝一郎(佐賀大学)	<セッション6> 〔1号館(A棟)5F A502教室〕 司会: 脇 忠幸(福山大学) Q.「白い恋人」と「面白い恋人」は似ている? それとも似ていない? —日米における商標の類否判断基準の—考察— 五所 万実(慶應義塾大学)	<セッション7> 〔1号館(A棟)5F A503教室〕 司会: 船橋 瑞貴(群馬大学) リライトによって情報はどのように圧縮されるのか—NHKニュースからNHK NEWSWEB EASY / ステージへ— 打浪 文子(淑徳大学短期大学部), 岩田 一成(聖心女子大学)	<セッション8> 〔1号館(A棟)6F A603教室〕 司会: 嶋 ちはる(国際教養大学) Japanese attitudes towards Japanese English: Language variety and in-group bias Taro Awano(東北学院大学)
10:05~10:35	儀礼のポエティクス —メラネシア・フィジーにおける儀礼スピーチの言語人類学的考察— 浅井 優一(東京農工大学)	日本在住英語母語話者の「所有を表わす英語表現」とソーシャルネットワーク 平野 圭子(北九州市立大学)	中世騎士社会に登場した社交のための新時代の「スタイル」 —中英語頭韻詩に見られる「論争形式の軟談(dalliance)」と他種の会話様式— 遠山 菊夫(杏林大学)	The use of connectives in Japanese-English bilingual children's elicited narratives Mishina-Mori Satomi(立教大学), Nagai Yuki(立教大学), Yujobo Yuri Jody(玉川大学)
10:40~11:10	関西若年層のカジュアル談話にみる「方言主流社会」的現象 上林 葵(大阪大学)	英語非母語話者間の会話にみられる「笑い」の機能 —連鎖分析の観点から— 花元 宏城(東京電機大学)	中国朝鮮族言語使用・意識の共通性と多様性 —延吉市と大連市のアンケート調査結果比較— 新井 保裕(東京大学), 生越 直樹(東京大学), 孫 蓮花(大連理工大学), 李 東哲(延辺大学)	外国につながる生徒の自発的発話に見る教室参加 —地域日本語教室の場合— 孫 美那(千葉大学)
11:15~11:45	第二言語習得論から見たウチナーヤマトウグチの分類 新垣 李加子(首都大学東京)	日本語学習者の「ほめ」談話 —「ほめ手」の方略に注目して— 古田 朋子(関西大学), 早川 杏子(関西学院大学)		会話における割り込み後の談話展開に関する—考察— —中国人上級学習者の相手言語接触場面と第三者言語接触場面の比較— 陳 新(文教大学)
11:50~12:20	<招待発表1> 〔1号館(A棟)5F A501教室〕 鹿児島若年層話者の音調選択の変異とその要因 太田 一郎(鹿児島大学)	<招待発表2> 〔1号館(A棟)5F A502教室〕 言語行動の中の補助動詞「V-テクル」 —日本語教育における文法項目の扱いを考える— 筒井 佐代(大阪大学)	<招待発表3> 〔1号館(A棟)6F A603教室〕 移動する人々の言語問題の射程 —言語能力の自己評価の語りに見る歴史性, 他者性, 社会的位置づけをめぐって— 村岡 英裕(千葉大学)	
13:20~14:35	司会: 山本 真理(関西学院大学)〔1号館(A棟)5F A504教室 / 1号館(A棟)5F 実験実習・語学系教室(4)〕			
	P-01 日本語とクメール語における勧誘会話の対照研究 —《勧誘部》に着目して— Kuy Siemkiang(大阪大学)	P-02 なぜ「からかい」として理解することが可能なのか —「じゃ」で始まる確認要求を用いた発話に着目して— 吳 青青(九州大学)	計17件	

研究発表(口頭発表)

招待発表

ポスター発表

14:45~17:15	<ワークショップ4> 〔1号館(A棟)6F A601教室〕 会話データ分析の「研究と実践の連携」の可能性を探る —その変遷と教育者・研究者による具体的試みを基に— 企画責任者: 中井 陽子(東京外国語大学) 参加者: 寅丸 真澄(早稲田大学), 大場 美和子(昭和女子大学), 増田 将伸(京都産業大学)	<ワークショップ5> 〔1号館(A棟)6F A602教室〕 祭りの伝承にみられる共同体(心体知) 企画責任者: 榎本 美香(東京工科大学) 参加者: 伝 康晴(千葉大学), 細馬 宏通(滋賀県立大学), 坊農 真弓(国立情報学研究所), 高梨 克也(京都大学), 寺岡 丈博(東京工科大学), 坂井田 瑠衣(慶應義塾大学/日本学術振興会), 阿部 廣二(早稲田大学)
-------------	--	--

ワークショップ